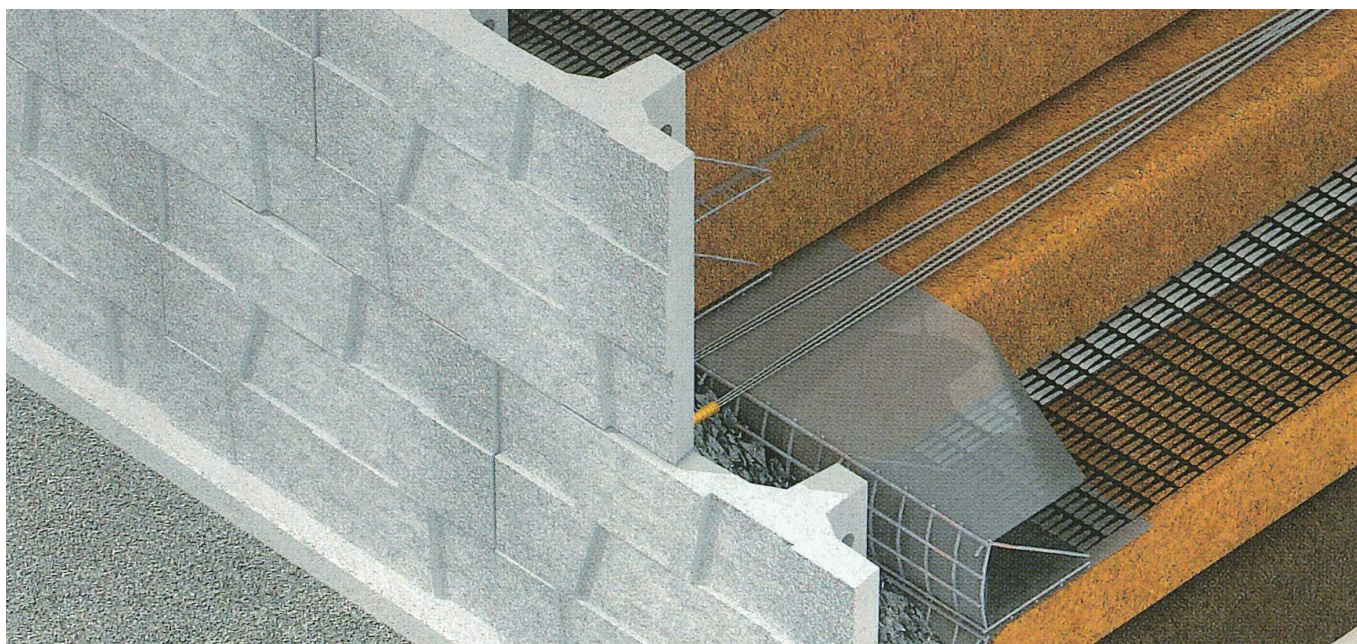


アダムウォール工法

Locacon®

NETIS 準推奨技術 NETIS登録:KK-020061-VE(掲載終了)

補強土壁工法

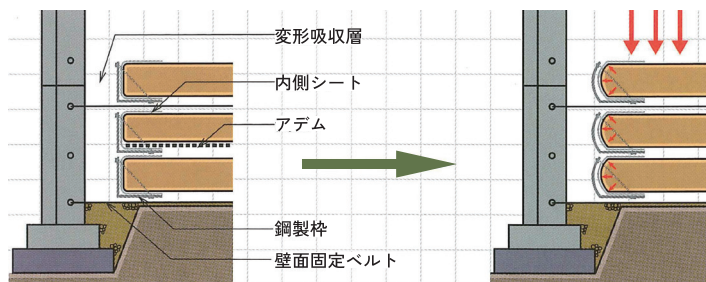


特 長

1. アダムで補強された「補強盛土体」と「壁面材」の間に「変形吸収層」を設けた二重壁構造は、盛土施工時に壁面材に補強盛土体の土圧が作用しない構造となっています。重機による壁面近傍の転圧が可能となり、十分に締固めができます。その結果、盛土材料の強度を有効に発揮させることが可能となり、供用後における壁面の変形を抑制できます。



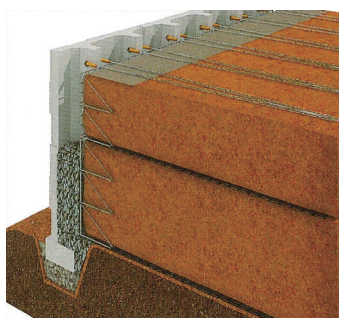
重機による壁面近傍転圧状況



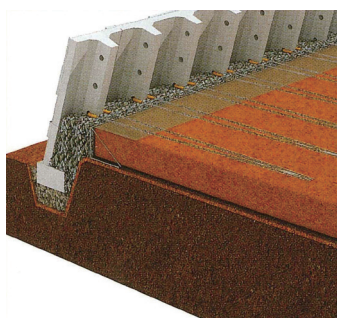
締固め前

締固め後

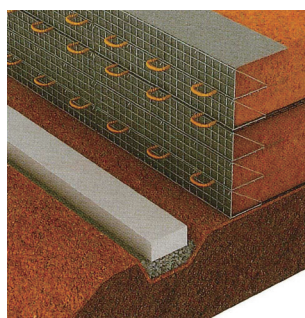
2. 現場の状況に応じた構造タイプの選択が可能です。



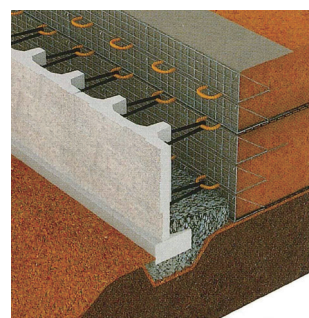
■ 垂直壁タイプ



■ 斜壁タイプ



■ 壁面あと施工タイプ



工法タイプ

■ 垂直壁タイプ

日本は土地利用の制限が多い市街地、環境の保全が必要とされる用地など、道路の建設条件の厳しい箇所が数多く見られます。そのような箇所では垂直壁が必要とされます。アダムウォール工法はそれらの様々なニーズに対応します。

■ 水辺

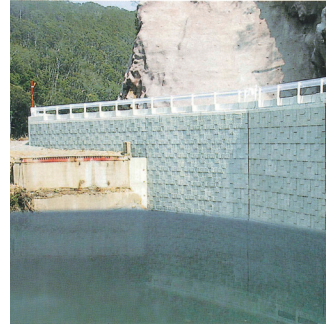
■ 多段盛土



関東地方整備局長野国道事務所
国道20号坂室バイパス建設工事



長野県豊丘村
社会資本整備総合交付金事業道路
改良工事・村道佐原線



九州電力株式会社
発電所新設工事



石川県県央土木総合事務所
鈴見新庄線(山側環状線)

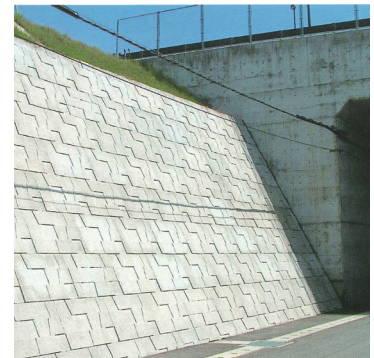
■ 斜壁タイプ

斜壁タイプは壁面勾配を1:0.1～1:0.5としたタイプです。ブロック積み擁壁などの既存の構造物にすり付ける事が可能です。

また、勾配をもたせることにより、圧迫感が低減され景観に配慮した構造物となります。



中部地方整備局浜松河川国道事務所
関越自動車道工事

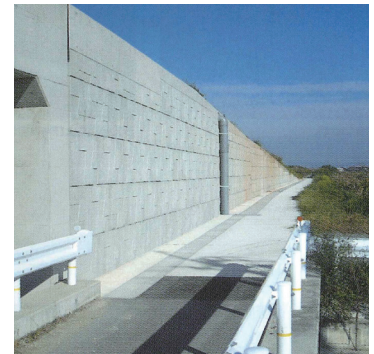


近畿地方整備局福井河川国道事務所
美浜東バイパス古谷地区改良

■ 壁面あと施工タイプ

コンクリート壁面タイプの補強土壁工法で軟弱地盤上に構築できるのは、アダムウォール工法(壁面あと施工タイプ)だけです。

アダムで構築された盛土(内壁)とコンクリート壁面(外壁)が分離されているため、内壁を構築し軟弱地盤の圧密沈下後に外壁を構築することができます。



最大沈下量60cmの超軟弱地盤上に建設(福岡県国道工事)